

## 2. 取組を進めるに当たり困難であった事例について

### B. 円滑な学位授与の促進

#### ⑤ポートフォリオ等を活用した到達度の把握と研究指導の充実

##### 《医療系》

##### ●順天堂大学医学研究科医学専攻

##### 「研究能力と専門性を育む大学院教育の実践」の事例

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

本学医学研究科では、大学院生の増加に伴い、学生管理、特に学修・研究成果の蓄積および履修登録情報管理の効率化が求められていたところ、WEB上にて履修登録を行い、履修科目の管理、成績管理をする履修管理システムを本プログラムの支援にて導入した。平成21年度において運用を開始する予定であったものの、成績判定・評価方法の見直しおよび授業科目の見直し等を大幅に行った関係で、本研究科の授業科目に対応すべく、システム上、項目の大幅な見直しなどを行ったため、平成21年度はトライアル運用を行うに留まった。

(苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

大学院教育カリキュラムの内容やその成績判定・評価方法等については、平成19年度において一定の整備はできたものの、問1にて前述のとおり、継続的に改善・見直しを行ったため、それに応じて履修管理システムも見直しを行う必要が生じ、システムの完成に時間を要した。そのため、本来システムの本格導入を予定していた平成21年度において、システムによる効率的な履修管理を満足に行うことができなかった。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

平成21年度におけるトライアル運用を踏まえ、本プログラム補助期間中に改善された大学院教育カリキュラムの内容やその成績判定・評価方法等を反映した履修管理システムを整備し、平成22年度より、本格運用を行った。その結果、効率的な学修・研究成果の蓄積および履修登録情報管理を実施することが可能となった。